

三重県・志摩市・鳥羽市・鈴鹿市総合防災訓練で移動電源車などの支援機器を展示

東海総合通信局（局長 三田 一博）は、令和6年12月8日（日）に実施された「三重県・志摩市・鳥羽市総合防災訓練」及び同年12月21日（土）、22日（日）に実施された「三重県・鈴鹿市総合防災訓練」に参加しました。

「三重県・志摩市・鳥羽市総合防災訓練」では、避難所の開設・運営訓練の場所とされた三重県志摩市大王町の船越社会体育館において、災害時に地方公共団体や電気通信事業者及び放送事業者等に貸し出す移動電源車と移動通信機器（衛星携帯電話、簡易無線機、衛星インターネットアクセスシステム（スターリンク）等）を展示しました。また、日本放送協会（NHK）の中継局等の放送が停止した場合に現地に直行して放送を継続するNHKの非常用送信車両に対して、移動電源車から電源供給を行いました。

防災訓練に参加した地元の皆様は、津波被害が心配される地域であることもあり、当局の災害対応に関する説明に熱心に聴き入っていました。

鈴鹿サーキット内で実施された「三重県・鈴鹿市総合防災訓練」では、両日とも移動電源車、移動通信機器及び臨時災害放送局の展示に加えて、鈴鹿市及び（株）鈴鹿メディアパークの協力の下、21日（土）に「親子電波教室」も開催しました。参加した三組の親子は、親子で協力してFMラジオの製作に取り組んだ後、完成したラジオを使って鈴鹿市のコミュニティラジオ局「鈴鹿ヴォイス78.5MHz」の放送を聴きながら、災害が発生した際の情報入手手段としてラジオの有用性を実感していました。

東海総合通信局では引き続き、地方公共団体主催の防災訓練への参加等の様々な機会を捉えて、当局の防災・減災の取組に対する地域の皆様のご理解を深めていただけるよう努めるとともに、地方公共団体や民間事業者等が被害情報の収集や応急復旧活動が迅速に行えるように、多様な情報伝達手段の確保を図ってまいります。

お問い合わせ先： 防災対策推進室 052-715-5008

【志摩市会場（船越体育館）】



東海総合通信局の取組について説明



当局の移動電源車からNHKの非常用通信車両に電源を供給

【鈴鹿市会場（鈴鹿サーキット）】



展示ブースに設置した移動通信機器



東海総合通信局の取組について説明



親子電波教室でのFMラジオ製作の様子